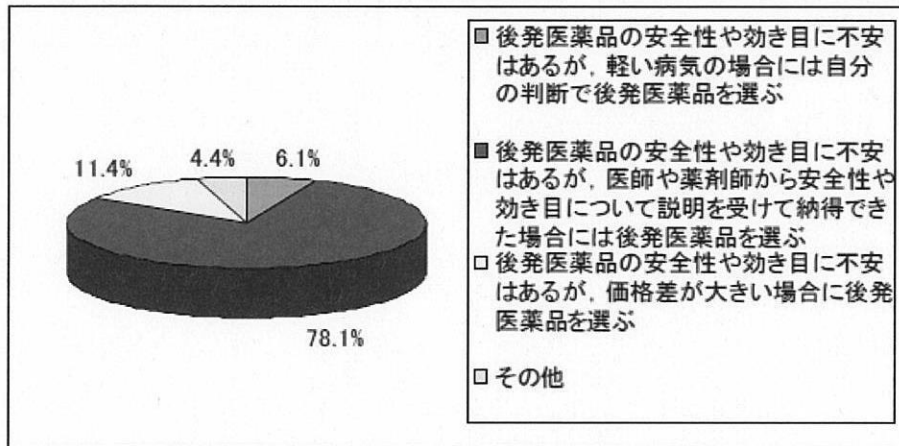


「場合によっては後発医薬品を選ぶ」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「後発医薬品の安全性や効き目に不安はあるが、医師や薬剤師から安全性や効き目について説明を受けて納得できた場合には後発医薬品を選ぶ」（78.1%）との回答が最も多くなっている。

また、「後発医薬品の安全性や効き目に不安はあるが、価格差が大きい場合に後発医薬品を選ぶ」との回答が約1割あり、消費者にとって価格差が後発医薬品を選ぶ指標となっていることがうかがえる。

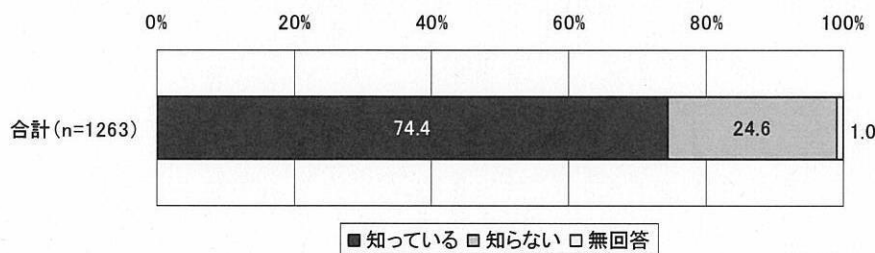
図表 33 後発医薬品を選択する場合（場合によっては後発医薬品を選ぶ消費者）  
(n=686)



出所：公正取引委員会「医療用医薬品の流通実態に関する調査報告書（平成18年）」

健康保険組合連合会が実施した「医療に関する国民意識調査（2007年）」によると、後発医薬品の認知度において、「知っている」と回答した人は74.4%であった。

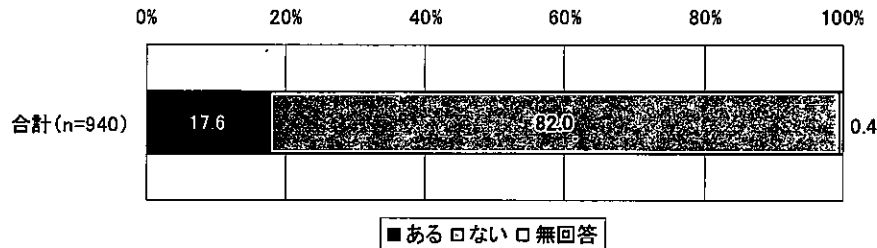
図表 34 後発医薬品の認知度



出所：健康保険組合連合会「医療に関する国民意識調査（2007年）」

後発医薬品を知っている人に服用経験の有無を尋ねたところ、「(服用経験が) ある」と回答した人は17.6%となった。

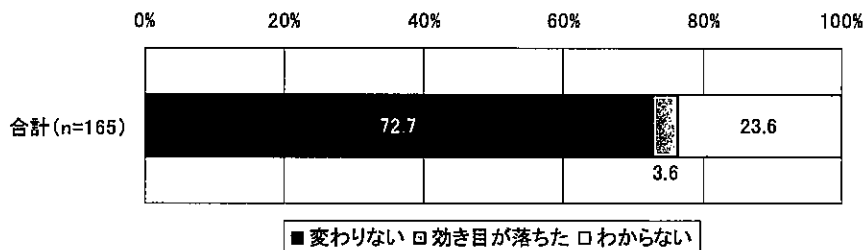
図表 35 後発医薬品の服用経験の有無



出所：健康保険組合連合会「医療に関する国民意識調査（2007年）」

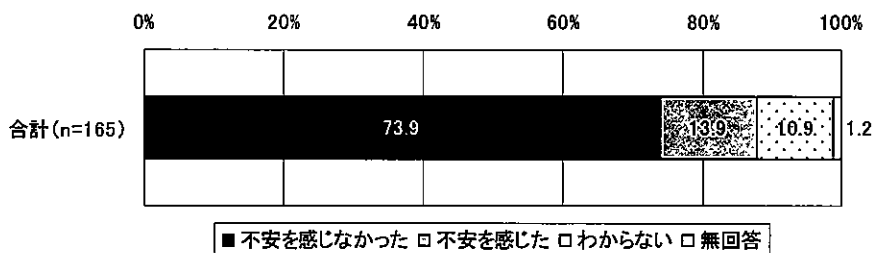
後発医薬品を服用したことがある人にその感想を尋ねたところ、薬の効き目、薬の安全性については、それぞれ「変わらない」（72.7%）、「不安を感じなかった」（73.9%）となった。窓口での負担感については約半数の人が「かなり安くなった」（46.7%）と回答している。

図表 36 服用した感想～薬の効き目～



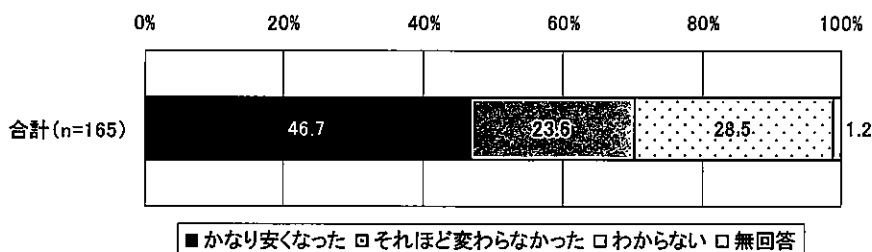
出所：健康保険組合連合会「医療に関する国民意識調査（2007年）」

図表 37 服用した感想～薬の安全性～



出所：健康保険組合連合会「医療に関する国民意識調査（2007年）」

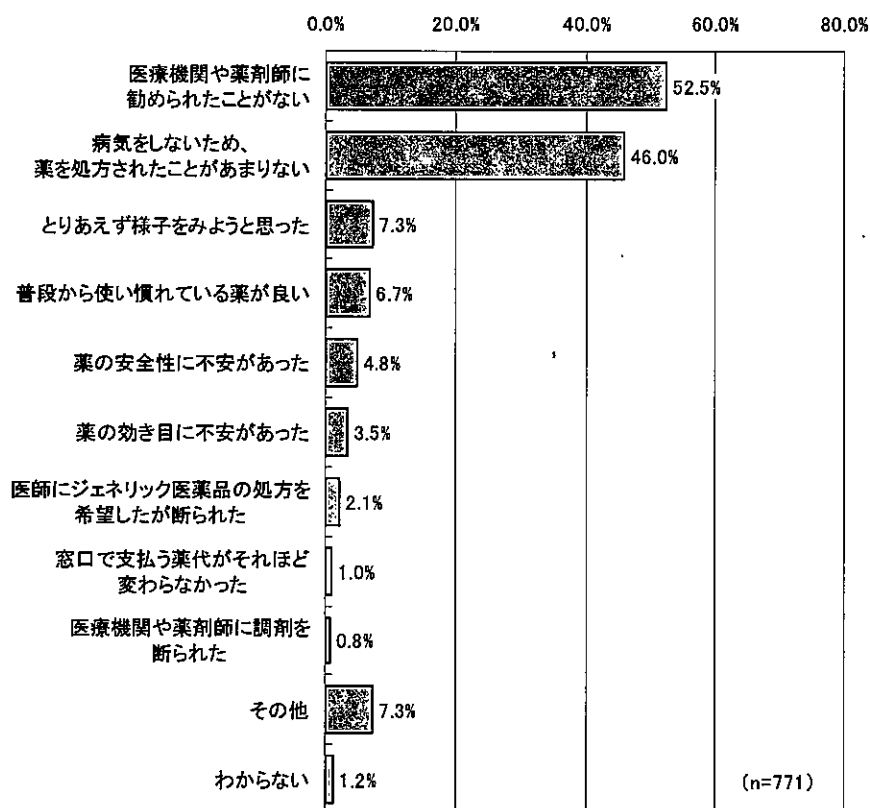
図表 38 服用した感想～窓口での負担～



出所：健康保険組合連合会「医療に関する国民意識調査（2007年）」

後発医薬品を知っていて服用しなかった人にその理由を尋ねたところ、「医療機関や薬局の薬剤師に後発医薬品を勧められたことがない」（52.5%）、「病気をしないため、薬を処方されたことがない」（46.0%）の順となった。

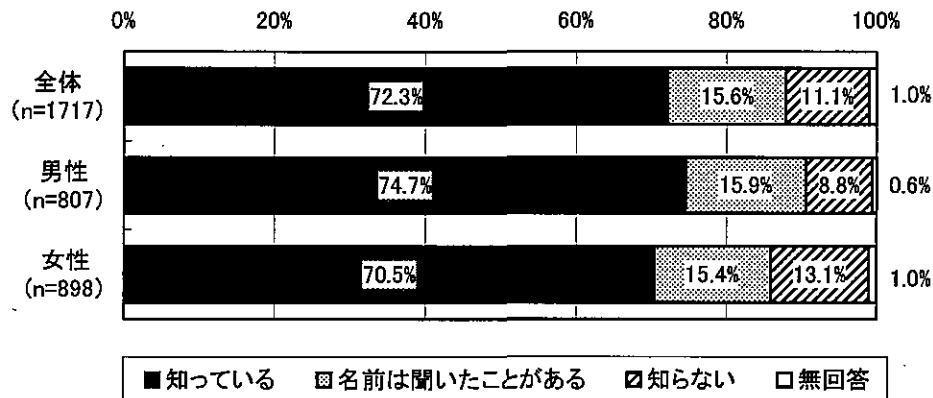
図表 39 服用しなかった理由（複数回答）



出所：健康保険組合連合会「医療に関する国民意識調査（2007年）」

厚生労働省「後発医薬品の使用状況調査（平成20年度調査）」によると、後発医薬品の認知状況についてみると、全体では、「知っている」が72.3%、「名前は聞いたことがある」が15.6%、「知らない」が11.1%であった。後発医薬品の認知状況について男女別にみると、後発医薬品を「知っている」という回答は、男性では74.7%、女性では70.5%となり、男性の方が女性よりも4.2ポイント高い結果となった。

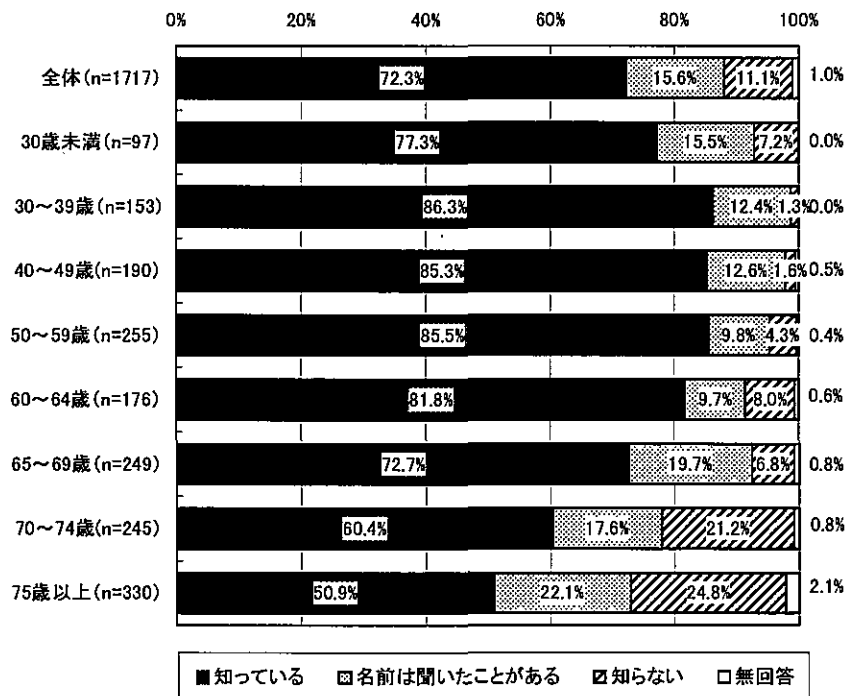
図表 40 後発医薬品の認知状況（男女別）



出所：厚生労働省「後発医薬品の使用状況調査（平成20年度調査）」

後発医薬品の認知状況について年齢階層別にみると、年齢が高くなるにしたがって認知度が低くなる傾向がみられた。75歳以上では、後発医薬品を「知らない」という回答が24.8%と、4人に1人が後発医薬品を「知らない」という結果となった。

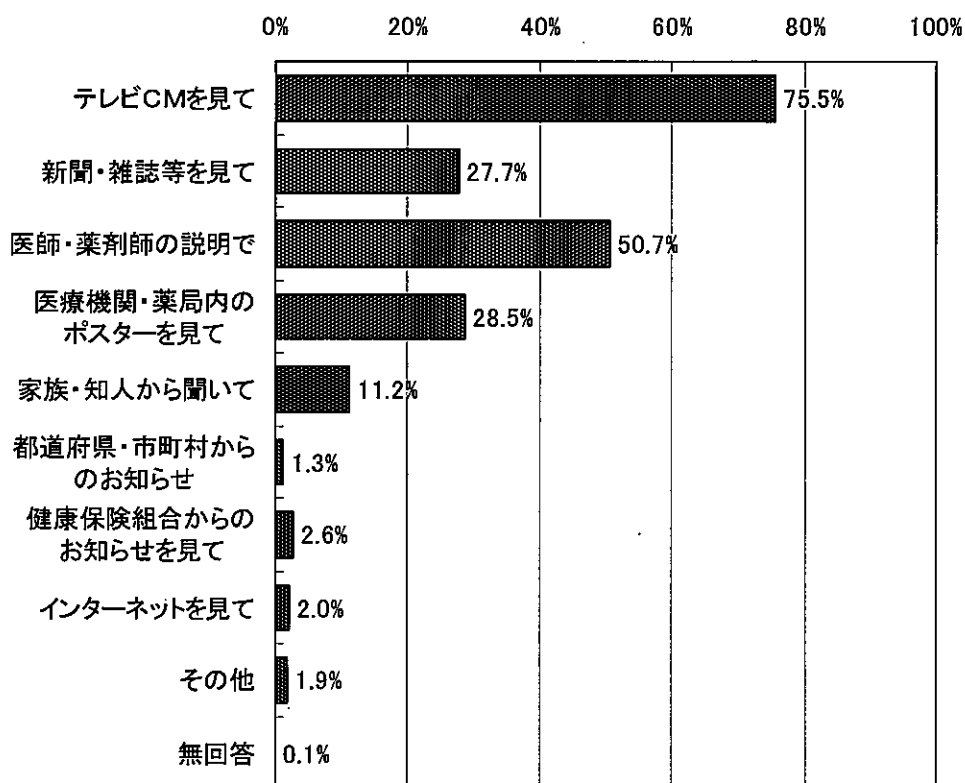
図表 41 後発医薬品の認知状況（年齢階層別）



出所：厚生労働省「後発医薬品の使用状況調査（平成20年度調査）」

後発医薬品の認知方法について、後発医薬品を知っている人にたずねたところ、「テレビCMを見て」(75.5%)が最も多く、次いで「医師・薬剤師の説明で」(50.7%)、「医療機関・薬局内のポスターを見て」(28.5%)、「新聞・雑誌等を見て」(27.7%)の順となった。

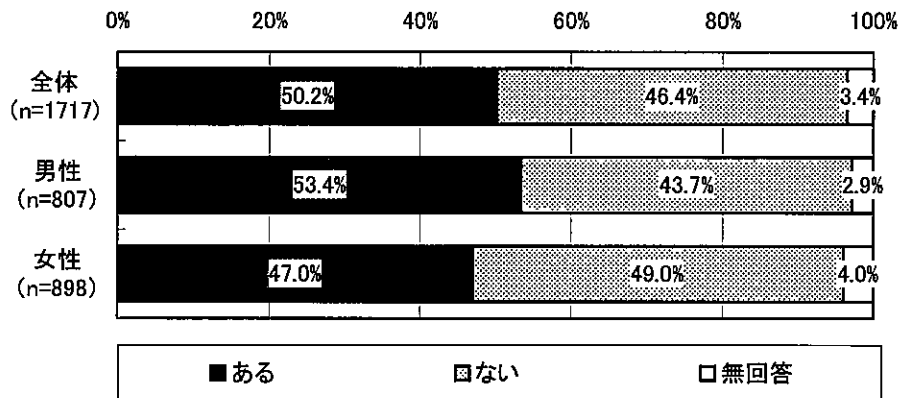
図表 42 後発医薬品の認知方法（後発医薬品を知っている人、n=1510）



出所：厚生労働省「後発医薬品の使用状況調査（平成20年度調査）」

後発医薬品の使用経験の有無についてみると、全体では、後発医薬品の使用経験が「ある」が50.2%、「ない」が46.4%であった。男女別にみると、男性は女性と比較して「ある」という回答が6.4ポイント高い結果となった。

図表 43 後発医薬品の使用経験の有無（男女別）

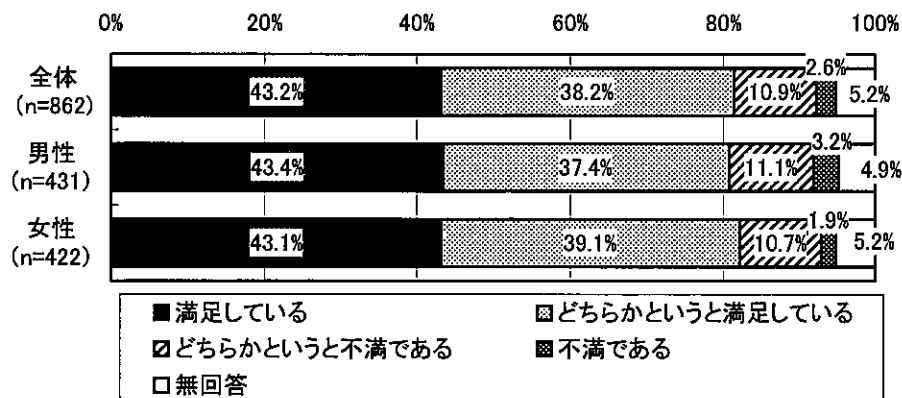


出所：厚生労働省「後発医薬品の使用状況調査（平成20年度調査）」

後発医薬品を使用した満足度についてみると、全体では、「満足している」が43.2%、「どちらかという満足している」が38.2%、「どちらかという不満である」が10.9%、「不満である」が2.6%であった。

男女別にみると、満足とする回答（「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合）は男女ともに8割を超え、不満とする回答（「どちらかという不満である」と「不満である」を合計した割合）は1割程度となった。

図表 44 後発医薬品の使用の満足度（使用経験ある人、男女別）



出所：厚生労働省「後発医薬品の使用状況調査（平成20年度調査）」